

常盤だより

第497号
常盤小学校
常盤幼稚園

寒さに負けず

校長 浮津 健史

中休みになると、校庭では手打ち野球・ドッジボール・縄跳び・鬼ごっこなど「子どもは風の子、元気な子」と言われる通り、寒さは何のその元気に遊んでいます。そして、1月の後半は中休みの最後の5分間みんなでペースランニングを行いました。このペースランニングは、本校のマイスクールスポーツでもあり、自分のペースで5分間走り続けることが目標になっています。子どもたちと一緒に「頑張れ」と声をかけながら走っていると、「校長先生を追い抜くぞ」と頑張る子どもや自分のペースで頑張っている子も見られました。また、幼稚園の子どもたちの応援も後押ししてくれました。

体育の授業や中休みに走った記録は、ペースランニングカードに記録を積み重ね、5分間で走った距離によって認定証が配られます。また、走った距離を常盤小学校からの直線距離で、東京タワー（4km）、お台場（8km）といった表にシールを貼ることであります。シールが貼られているのを見ると友達の頑張りが分るとともに、自分も頑張ろうという気持ちになるのだと思います。これも意欲付けの一つであり、先日シールを貼ることができた1年生が「〇〇周走ることができました」と報告してくれたこともありました。

子どもたちの持久力・走力の向上とともに、友達と励まし合いながら目標に向けて継続して努力する力も育ててほしいと思っています。



席書会

国語科主任

書き初めは日本ならではの伝統文化の一つです。子どもたちはその長く大切にされている伝統文化に真剣に取り組んでいました。毎年、それぞれの学年で決めた目標があります。今年もその目標達成に向け、一画ずつ丁寧に書いていました。何事も初めが肝心です。新しい年が始まった今、これから取り組む学習や自分の生活に関わることなどの初めの一步に力を入れて、もてる力をさらに伸ばしてほしいです。

